

(10) 引用文献等

概論の執筆にあたって引用あるいは参照した主な文献を分類群ごとに以下に掲載した。配列は著者名のアルファベット順とした。

① 哺乳類

- ・揚妻芳美, 2001. 愛知県におけるアライグマ野生化の過程とその現状. マンモ・ス特別号, (3): 1-18.
- ・保尊 脩・子安和弘・織田銃一, 2008. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 6. マンモ・ス特別号, (10): 53-58.
- ・石川 創(編), 1994. 日本沿岸のストランディングレコード(1901-1993). 鯨研叢書, (6): 1-94.
- ・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2003. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 1, (2002年10月～2003年4月). マンモ・ス特別号, (5): 36-41.
- ・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2004. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 2, (2003年5月～2004年4月). マンモ・ス特別号, (6): 26-32.
- ・子安和弘・織田銃一, 2009. 愛知県産哺乳類目録. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 2009: レッドデータブックあいち, pp.19-22. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・子安和弘・高橋伸夫・大竹 勝, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 哺乳類・鳥類・爬虫類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.A-1-31. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・栗原 望・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2005. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 3, (2004年4月～2005年3月). マンモ・ス特別号, (7): 32-40.
- ・栗原 望・山崎 健・織田銃一, 2006a. 愛知県豊橋市大崎町に漂着したカマイルカ(*Lagenorhynchus obliquidens*). マンモ・ス特別号, (8): 74-78.
- ・栗原 望・山崎 健・子安和弘・織田銃一, 2006b. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 4, (2005年4月～2006年3月). マンモ・ス特別号, (8): 79-86.
- ・栗原 望・子安和弘・織田銃一, 2007. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 5, (2006年4月～2006年12月). マンモ・ス特別号, (9): 48-56.
- ・宮尾嶽雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物, pp.286-235. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
- ・野呂達哉, 2015. オヒキコウモリ. レッドデータブックなごや 2015 動物編, p.51. 名古屋市環境局環境企画部, 名古屋.
- ・Sano, A. 2015. *Tadarida insignis* (Blyth, 1861). The wild mammals of Japan, 2nd ed., pp.130-131. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.
- ・安井謙介・加藤利依・神戸 敦・今井尚子・齋藤幸子・岡地潔・小鹿登美・鳥山忠征・高橋佳子・塩澤憲治, 2012. 愛知県原山市高松町にストランディングしたカマイルカ. 三河生物, 4: 63-66.

② 鳥類

- ・子安和弘・高橋伸夫・大竹 勝, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 哺乳類・鳥類・爬虫類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.A-1-31. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・日本鳥学会(編), 2000. 日本産鳥類目録 改訂第6版, pp.346. 日本鳥学会.
- ・日本鳥学会(編), 2012. 日本産鳥類目録 改訂第7版, pp.438. 日本鳥学会.

③ 爬虫類

- ・子安和弘・高橋伸夫・大竹 勝, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 哺乳類・鳥類・爬虫類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.A-1-31. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

④ 両生類

- ・島田知彦, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 両生類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.B-1-10. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・島田知彦, 2018. 第3章 第7節 水とともに生きる両生類. 新修豊田市史自然編, pp.524-545. 豊田市.
- ・島田知彦・坂部あい, 2014. 西三河平野部の水田におけるツチガエルの分布. 豊橋市自然史博物館研報 (24): 7-15.
- ・島田知彦・田上正隆・楠田哲士・藤谷武史・高木雅紀・河合敏雅・堀江真子・堀江俊介・波多野順・廣瀬直人・池谷幸樹・国崎 亮・須田暁世・坂部あい, 2015. 濃尾平野に生息する水田棲カエル類の分布状況. 豊橋市自然史博物館研報 (25): 1-11.

⑤ 汽水・淡水魚類

- ・浅香智也・鳥居亮一・向井貴彦・地村佳純・大仲知樹・荒尾一樹・谷口義則, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 汽水・淡水魚類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.C-1-37. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

⑥ 昆虫類

- ・穂積俊文ほか, 1990. 愛知県の昆虫(上). viii+506pp. 愛知県農地林務部自然保護課, 名古屋.
- ・間野隆裕(編), 2018. グリーンデータブックあいち 2018 昆虫編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.D-1-280. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・岡田正哉ほか, 1991. 愛知県の昆虫(下). iii+416pp. 愛知県農地林務部自然保護課, 名古屋.

⑦ クモ類

- ・環境省, 2019. その他無脊椎動物レッドリスト 2019. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室.
- ・緒方清人, 1996a. 真正クモ類. 設楽町史 自然編 資料編, pp.234-266. 設楽町.
- ・緒方清人, 1996b. クモ類. 稲武町史 自然 資料編, pp.127-146. 稲武町.
- ・緒方清人, 2014a. 新城市のクモ類. 新城市の自然誌 = 昆虫・動物編 =, pp.25-39. 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 2014b. 愛知県三河地方におけるセアカゴケグモの現状. 蜘蛛, 47: 48-54.
- ・緒方清人, 2015. 真正クモ類. 日進市史資料編補七自然 資料編目録, pp.1-92. 日進市.
- ・緒方清人, 2016a. クモ類. 豊田市生物調査報告書 資料編, pp.343-395. 豊田市.
- ・緒方清人, 2016b. 西尾市吉良町 梶島のクモ類. 蜘蛛, 49: 22-25.
- ・緒方清人, 2018a. グリーンデータブックあいち 2018 クモ編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.E-1-24. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・緒方清人, 2018b. クモ目. 新編知立市史 8 資料編 自然. 知立市.
- ・緒方清人, 2019a. 愛知県産クモ類目録と追加種(X I). 蜘蛛, 52:15-57.
- ・緒方清人, 2019b. 新城市門谷鳳来寺山のクモ類について. 鳳来寺山自然科学博物館, 48: 1-16.
- ・小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類生態図鑑 自然史と多様性. 713pp. 東海大学出版会, 神奈川.
- ・須賀瑛文, 1984. 真正蜘蛛類. 愛知の動物. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・須賀瑛文, 2008. クモ類. 新修名古屋市史 資料編 自然, pp.323-336. 名古屋市.
- ・須賀瑛文・緒方清人・柴田良成, 2013. 8クモ類調査. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書, pp.121-131. なごや生物多様性保全活動協議会.
- ・谷川明男, 2017. 日本産クモ類目録 ver.2017 R1. <http://www.Asahi-net.or.jp/~dp7a-tnkw/japan.pdf>.

⑧ 貝類

- ・天野景従, 1966. 愛知県の陸貝相. 東海高校研究紀要, (4): 69-82 + 2pls.
- ・風呂田利夫・関口秀夫・菊池泰二・田北徹・東幹生・佐藤正典, 1999. 九州の干潟を中心とした浅海域開発と環境アセスメントの問題点. 1997年秋期大会シンポジウム報告. 海の研究, 8 (1): 47-68.
- ・早瀬善正・木村昭一, 2011. 名古屋港周辺の陸産貝類相, 特に新たな外来移入種メリケンスナガイ (新称) について. ちりばたん, 41 (2): 48-59. 日本貝類学会.
- ・早瀬善正・種倉俊之・社家間太郎・松永育之・吉川尚・松浦弘行・石川智士, 2011. 愛知県幡豆町の干潟および岩礁域潮間帯の貝類相. 東海大学海洋研究所研究報告, (32): 11-33.
- ・早瀬善正・木村昭一・大貫貴清, 2015a. 沖島 (三河湾) の転石地潮間帯の貝類相. かきつばた, (40): 23-30. 名古屋貝類談話会.
- ・早瀬善正・大貫貴清・吉川尚・松永育之・社家間太郎, 2015b. 前島 (三河湾) の転石地潮間帯の貝類相—特徴的な 16 種の記録. ちりばたん, 45 (3): 105-122. 日本貝類学会.
- ・早瀬善正・木村昭一・河辺訓受・川瀬基弘・林誠司・西浩孝・守谷茂樹・石井健一郎・大貫貴清・岩田明久・仲田彰男, 2016. 梶島 (三河湾) の潮間帯の貝類相. かきつばた, (41): 27-39. 名古屋貝類談話会.
- ・早瀬善正・木村昭一, 2017. 河和 (三河湾) の内湾潮間帯の貝類相. ちりばたん, 47 (1-4): 28-42. 日本貝類学会.
- ・早瀬善正・木村昭一・西浩孝・守谷茂樹・岩田明久, 2019. 日間賀島 (三河湾) の潮間帯貝類相. かきつばた, (44): 1-15. 名古屋貝類談話会.
- ・早瀬善正・木村昭一, 2020. 佐久島 (三河湾) の潮間帯貝類相. ちりばたん, 50(1): 33-79. 日本貝類学会.
- ・早瀬善正・西浩孝・河辺訓受・木村昭一・矢橋真・大貫貴清・岩田明久・仲田彰男, 2017. 伊良湖岬の陸産貝類. かきつばた, (42): 1-5. 名古屋貝類談話会.
- ・河辺訓受, 2002. 石巻山周辺淡水貝観察調査会報告—愛知県でミズコハクガイを初記録—. かきつばた, (28): 31-32. 名古屋貝類談話会.
- ・河辺訓受・木村昭一, 2015. 愛知県に生息していたテリザクラ—かつての汐川干潟の貝類相—. かきつばた, (40): 31-33. 名古屋貝類談話会.
- ・川瀬基弘, 2016. 東海丘陵湧水湿地群に生息する貝類. 矢作川研究, (20): 13-16.
- ・木村昭一, 1994. 東海地方の淡水貝類相. 研究彙報(第 33 報): 14-34. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1995. 日間賀島南部海岸の潮間帯付近の軟体動物相. 研究彙報(第 34 報): 16-27. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1996. ドレッシングによって採集された日間賀島南部海域の底生動物. 研究彙報(第 35 報): 3-19. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 2000. 伊勢湾・三河湾でドレッシングによって採集された貝類(予報). かきつばた, (26): 18-20. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2006. 愛知県におけるミズゴマツボの産出記録. かきつばた, (32): 22-25. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2017. 伊良湖漁港内で採集された貝類. かきつばた, (42): 6-12. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2019. オナガリュウグウハゴロモは絶滅したのか?. かきつばた, (44): 33-37. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・木村妙子, 1999. 三河湾及び伊勢湾河口域におけるアシ原湿地の腹足類相. 日本ベントス学会誌, 54: 44-56.
- ・木村昭一・木村妙子・村山椋, 2019. 愛知県 (伊勢湾) で初めて生息が確認されたクリイロコミミガイ. かきつばた, (44): 40-43. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・中西尚文, 1997. 東海地方に分布するオトコタテボシ属の 1 種. ちりばたん, 27 (2): 41-48. 日本貝類学会.
- ・岸田弘之, 2008. 流域における物質循環の動態と水環境への影響に関する研究. 建設マネジメント技術 2008 年 10 月号: 27-33.
- ・守谷茂樹・河辺訓受, 2013. 三重県, 愛知県で確認されたミズコハクガイ, かきつばた, (38): 50-51. 名古屋貝類談話会.
- ・岡山県野生動物植物調査検討会(編), 2019. 岡山県野生生物目録 2019 21 軟体動物門. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山.
- ・大貫貴清・佐藤拓也・木村昭一・早瀬善正・吉川尚, 2015. 沖島と前島 (愛知県西尾市東幡豆町) の陸産貝類. かきつばた, (40): 39-42. 名古屋貝類談話会.
- ・佐藤大義・浅田要・永井僚, 2019. 南知多町内海海岸 (伊勢湾) の貝類相. かきつばた, (44): 20-30. 名古屋貝類談話会.
- ・水産庁・水産資源保護協会, 1988. 干潟. 15pp.
- ・庄子士郎, 1978. 愛知県 地学のガイド, 256 pp. コロナ社, 東京.
- ・和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島哲・山西良平・西川輝昭・五島聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏, 1996. 日本の干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状. WWF Japan Science Report 3. 182pp.
- ・山田充哉・石橋亮・河村功一・古丸明. 2010. ミトコンドリア DNA のチトクローム b 塩基配列および形態から見た日本に分布するマシジミ, タイワンシジミの類縁関係. 日本水産学会誌, 76: 926-932.